



2018年11月27日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社

社員訓練用シミュレーターの導入について

JR東日本盛岡支社では、安全・安定輸送のレベルアップの向上を目的に、2017年度から「乗務員区所シミュレーター」を順次導入しており、これを活用して乗務員の訓練を行っています。

また、設備関係工事を行う社員向けに10月1日から「鉄道工事従事者訓練シミュレーター」を導入しており、より質の高い訓練の実施に努めております。

1. 乗務員区所シミュレーター

(1) 導入目的

基本動作の教育と車両応急処置能力向上を目的に、乗務員の所属する職場に特化した教育を繰り返し行うため

(2) 導入箇所：盛岡支社で在来線を管理しているすべての乗務員関係職場

(一ノ関運輸区、盛岡運輸区、八戸運輸区および青森運輸区)

※2018年度中に盛岡運輸区釜石派出所にも導入を予定しています。

(3) 機器構成

- ①車掌用シミュレーター
- ②運転士用シミュレーター
- ③車掌用教師卓
- ④運転士用教師卓

※車掌、運転士それぞれの単独訓練と、合同での訓練が可能です。



①車掌用シミュレーター



②運転士用シミュレーター



車掌用シミュレーター

車掌用教師卓

③車掌用教師卓

(4) 主な訓練内容

- ・走行中の異常時対応訓練（人身事故、踏切事故、地震発生、異音感知、車内警報ブザー等）
- ・駅進入・進出時の取扱い訓練（お客さま接近・接触、駆け込み、ドア挟まり、荷物転落等）
- ・車両故障時の取扱い訓練

2. 鉄道工事従事者訓練シミュレーター

(1) 導入目的

基本動作と正しいルールを理解するとともに異常時における対応能力を習得するため

(2) 導入箇所

JR 盛岡支社ビル

(3) 機器構成

- ①列車防護訓練シミュレーター
- ②線路閉鎖工事手続訓練シミュレーター
- ③停電工事手続訓練シミュレーター

(4) 主な訓練内容

- ①線路内作業を再現し、異常発生時（踏切故障、線路陥没、お客さまホームから転落等）の対応を行う訓練
- ②川崎駅構内脱線事故※の現場をバーチャルリアリティによる仮想空間で体感し、正しい対応を行う訓練
- ③工事のための停電手続を仮想空間で体感し、手続きの流れやルールを理解する訓練

※2014年2月23日京浜東北線川崎駅構内で発生した、回送電車が工事用重機械に衝撃した事故。



①列車防護訓練シミュレーター



訓練装置を装着した様子



バーチャルリアリティの映像

②線路閉鎖工事手続訓練シミュレーター



訓練装置を装着した様子



バーチャルリアリティの映像

③停電工事手続訓練シミュレーター